安心計画

Walk in home 2021

操作マニュアル　物件管理編

テクニカルサポート

サポートお問い合わせフォーム：https://anshin-support.jp/form/help-desk-service

営業時間：月曜～土曜日の午前9:00～午後8:00迄（日祝日および弊社指定休日を除く）

安心計画株式会社　http://www.anshin.co.jp/

本　社　〒812-0011　福岡市博多区博多駅前3-22-8 朝日生命博多駅前ビル8F　TEL：092-475-1751　FAX：092-413-6378

改 版 履 歴

Rel.	日付	種別	改版内容
1.20	2021 年 9 月 30 日	追加	物件管理ツリー対応による全面改訂

目　次

1．物件管理 4
1-1）ログイン設定 4
1-1-1．初期設定 4
1-1-2．ログイン 6
1-1-3．物件管理データベース 9
1-2）物件管理 12
1-2-1．画面 12
1-2-2．ホームメニュー 13
1-2-3．ファイルメニュー 19
1-2-4．表示メニュー 22
1-2-5．設定・管理メニュー 22
1-2-6．アプリケーションランチャーメニュー 24
1-2-7．その他 24
1-2-8．おすすめ 24
1-3）その他 25
1-3-1．オートリカバリー 25

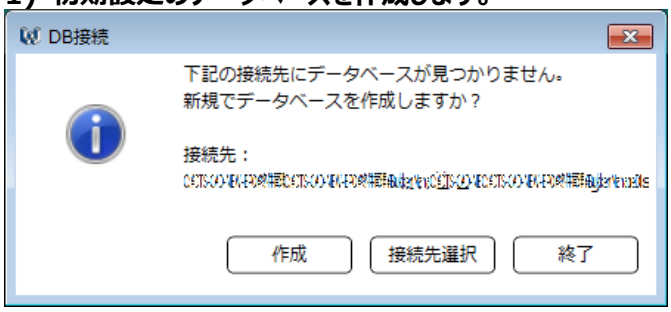
1. 物件管理

1-1）ログイン設定

1-1-1. 初期設定

初めて物件管理を起動したときの設定方法を記載します。

1）初期設定のデータベースを作成します。



【新規の場合】

「作成」を押下し、新規でデータベースを作成します。

【既に存在するデータベースを参照する場合】

「接続先選択」から既存のデータベースを参照して下さい

接続先選択については<*1-1-3.* 物件管理データベース>を参照して下さい。

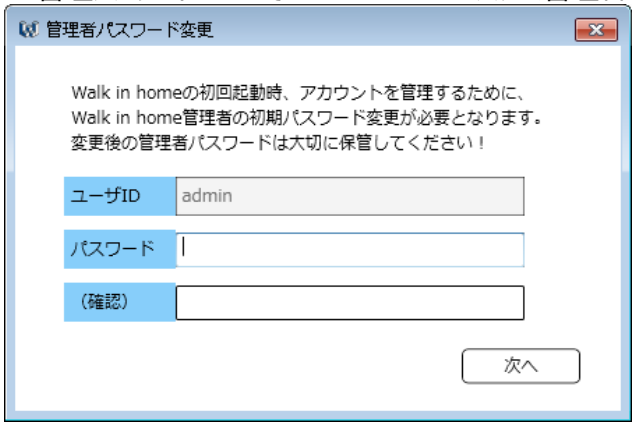
既存のデータベースを参照する場合は以降の作業は不要です。

2）システム管理者のパスワードを設定します。

システム管理者のアカウント情報は物件管理システムの管理のために必要となります。

設定したパスワードは失念しないよう注意が必要です。

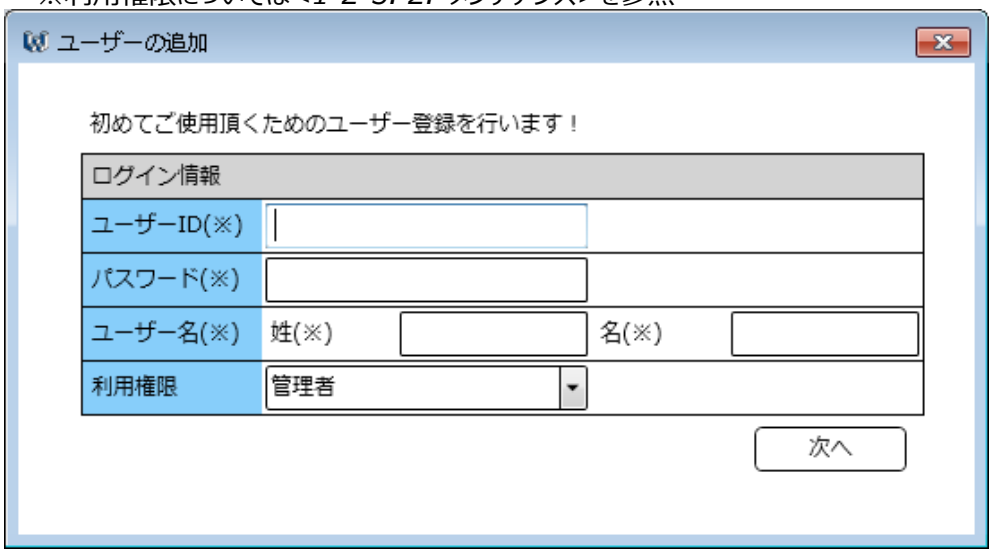
管理アカウントについては<*1-1-2. 2.*システム管理者 *4)*ユーザー>を参照して下さい。



3) ユーザーアカウントを追加します。

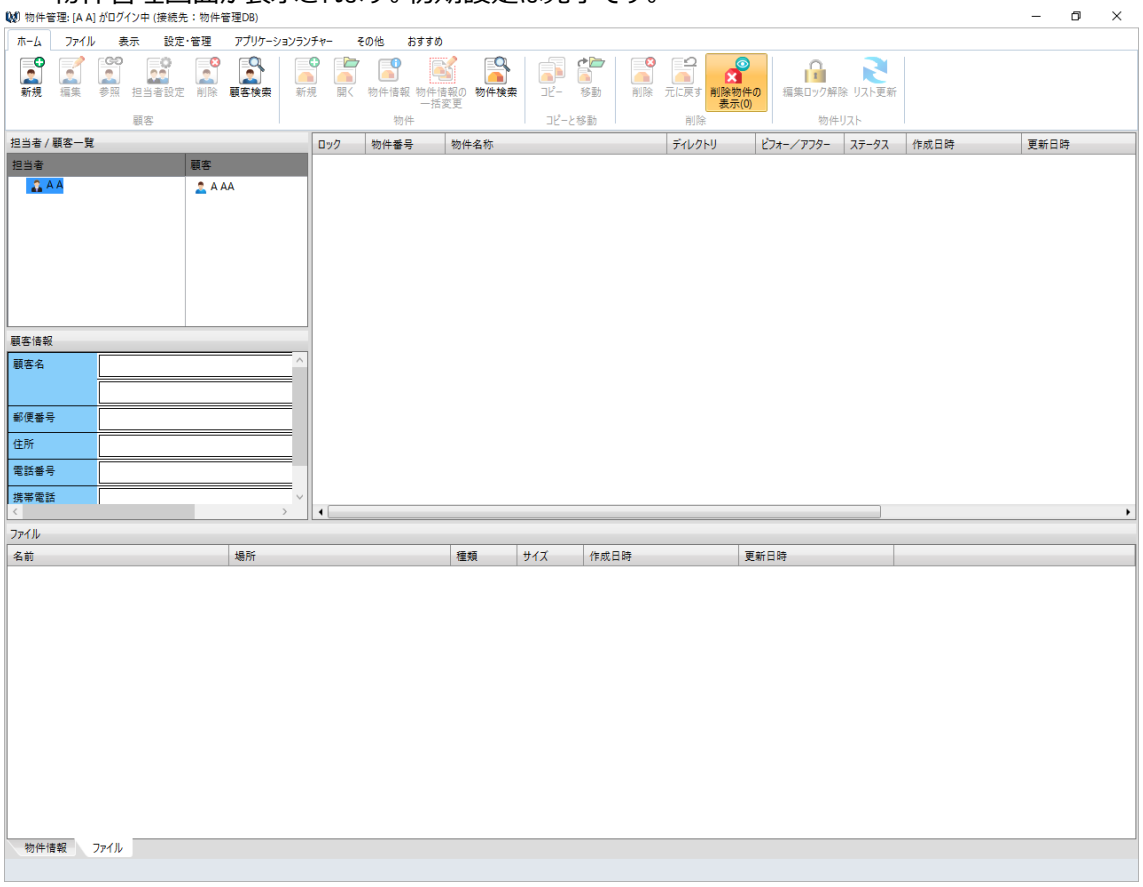
ユーザーID、パスワード、ユーザーの姓名、権限を設定します。

※利用権限については<*1-2-5. 2. メンテナンス*>を参照



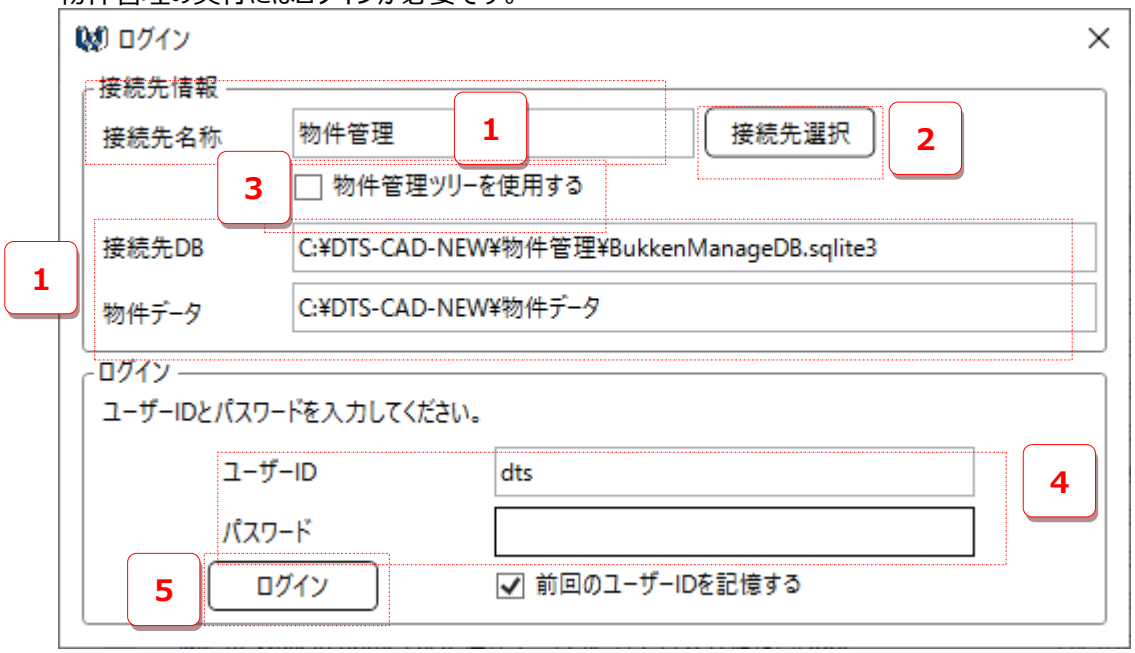
4) 物件管理画面が表示されます。

物件管理画面が表示されます。初期設定は完了です。



1-1-2. ログイン

物件管理の実行にはログインが必要です。



1. ログイン機能

1) 接続先情報

物件管理データベースのファイルパスおよび物件データフォルダのパスを表示します。

2) 接続先選択

物件管理データベースの接続先を選択します。

※詳細は<*1-1-3.* 物件管理データベースの参照先>を参照

3) 物件管理ツリーを使用する

物件管理画面上で複数の接続先を参照する際にチェックします。

予め物件管理ツリーの設定が必要となります。

※詳細は<*1-1-3. 5* 物件管理ツリー編集>を参照

4) ユーザーID、パスワード

登録しているユーザーID、パスワードを入力します。

5) ログイン

入力したユーザーID、パスワードで物件管理機能へログインします。

ログインに失敗する場合はシステム管理者へ連絡をお願いします。

※詳細は<*1-1-2. 2.*システム管理者>を参照

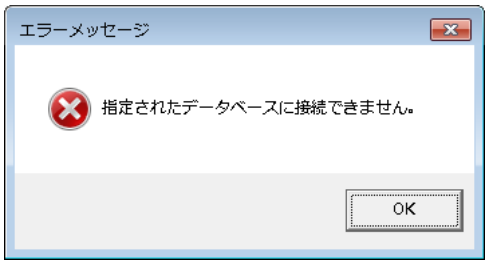
※詳細は<*1-1-3.* 物件管理データベースの参照先>を参照

2. システム管理者

システム管理者の ID、パスワードを入力してログインした場合は管理情報設定画面が表示されます。管理情報設定画面では組織情報・ユーザー情報等が設定可能となります。ユーザーの設定したパスワードも確認することができるため、失念した場合はシステム管理者へ問い合わせることでログインが可能となります。

3. FAQ

1) データベースの場所が分からず参照先を設定できません



(回答)

ローカルのデータベースを参照していた場合は「BukkenManageDB.sqlite3」を検索して下さい。

検索で見つかった物件管理 DB に接続して下さい。

検索できなかった場合は手動にて対応します。

[MASTER]¥物件管理¥BukkenManageDB.sqlite3 は物件管理 DB のバックアップです。

このファイルを参照先にコピーして下さい。

この場合、物件管理 DB は初期状態に戻ります。

定期的なバックアップをお勧めします。

例)

① [MASTER]¥物件管理¥BukkenManageDB.sqlite3 をコピー
② C:¥DTS-CAD-NEW¥物件管理にペースト
③ Walk in home を起動

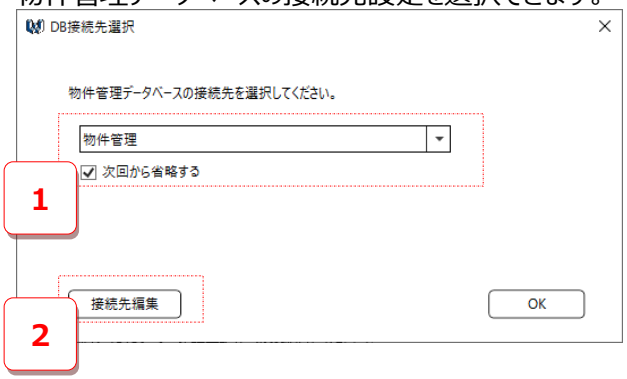
1-1-3. 物件管理データベース

1. 物件管理データベース

物件管理についての設定や顧客情報、物件について保持しているデータベースです。
参照先についての設定は保存することができます。
保存した設定を選択することで簡単に切り替えることが可能です。

2. 参照先

物件管理データベースの接続先設定を選択できます。



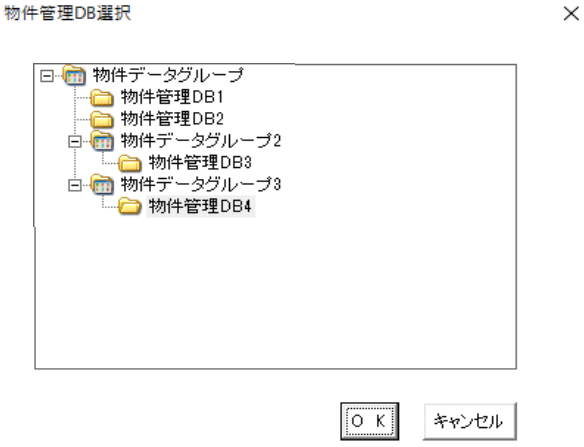
① 次回から省略する

次回起動時に DB 接続先選択画面を省略することができます。

② 接続先編集

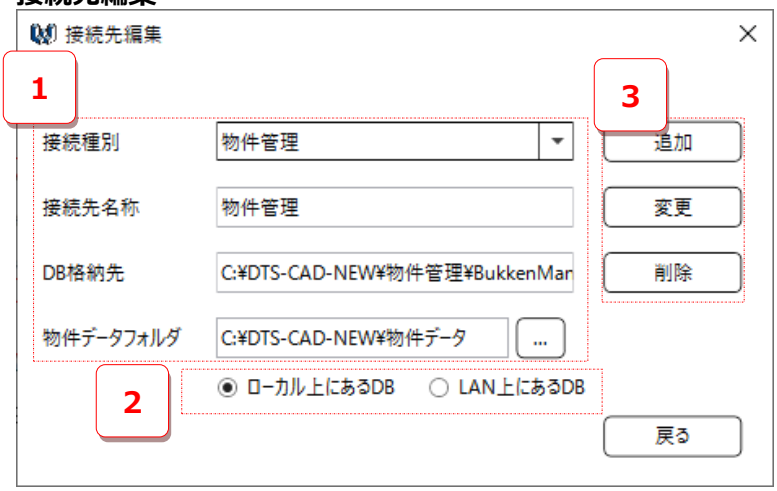
設定ファイルの編集や新規追加、削除を行うことが可能です。
詳細は<*1-1-3. 3.* 接続先編集>を参照して下さい。

3. 物件管理ツリー使用時の参照先



物件管理ツリーを使用する場合、DB 接続先はツリー上で選択します。

4. 接続先編集



① 接続設定

1. 接続種別

編集対象の設定です。

タブから既に登録済みの設定を選択することが可能です。

2. 接続先名称

設定の名称です。

名称を変更後、追加・変更などを行えます。

3. DB 格納先

物件管理データベースの参照先を設定します。

参照先のファイルが「BukkenManageDB.sqlite3」であることを確認して下さい。

4. 物件データ格納先

物件データの格納先を設定します。

② DB 参照先

物件管理データベースが「ローカルマシンに存在するか」、「LAN 上に存在するか」設定します。

③ 実行

1. 追加：

設定を新規に追加します。

追加された設定は選択肢に表示され、切り替えることが可能です。

2. 変更：

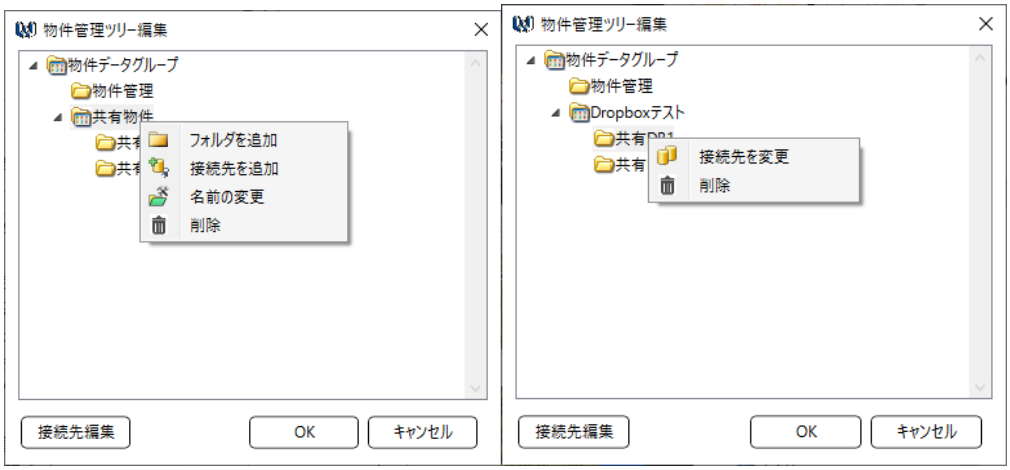
現在対象としている設定を更新します。

3. 削除：

現在対象としている設定を削除します。

5. 物件管理ツリー編集

複数の接続先をツリー構造で管理する機能です。



① フォルダを追加

ツリー管理をするためのフォルダを追加します。

フォルダの階層構造を作ることも可能です。

② 接続先を追加

フォルダ内に接続先 DB を設定します。

追加できるのは接続先編集にて作成したものとなります。

③ 名前の変更

フォルダ名称を変更します。

④ 接続先を変更

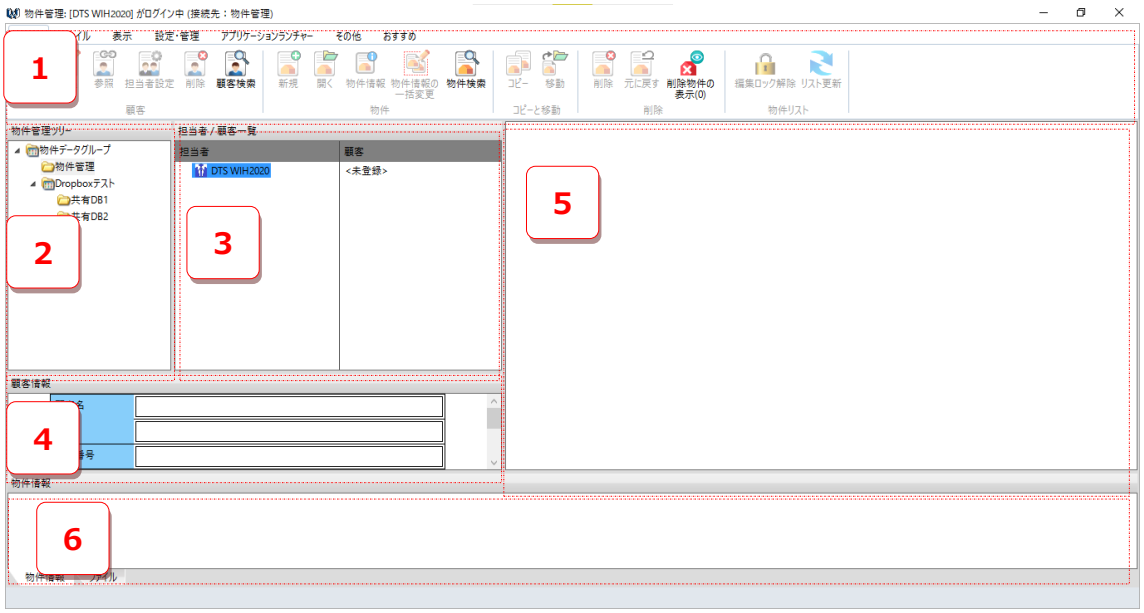
接続先 DB を別の接続先に変更します。

⑤ 削除

選択ノード以下のツリー構造を削除します。

1-2）物件管理

1-2-1. 画面



① メニュータブ　：　各種機能の実行、設定等が行えます

② 物件管理ツリー　：　接続先の切り替えが行えます。

③ 担当者/顧客　：　担当者及び顧客の一覧を確認できます。

④ 顧客情報　：　選択された顧客の情報を確認できます。

⑤ 物件一覧　：　選択された顧客に紐付いた物件を確認できます。

⑥ 物件情報/ファイル　：　選択された物件の情報と関連ファイルを確認できます。

1-2-2. ホームメニュー

1. 顧客

1) 新規

顧客情報を新規登録します。

2) 編集

顧客情報を編集します。

3) 参照

顧客情報を参照します。

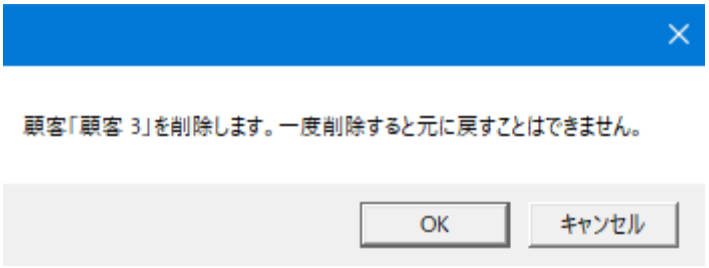
4) 担当者設定

顧客の担当者を設定します。

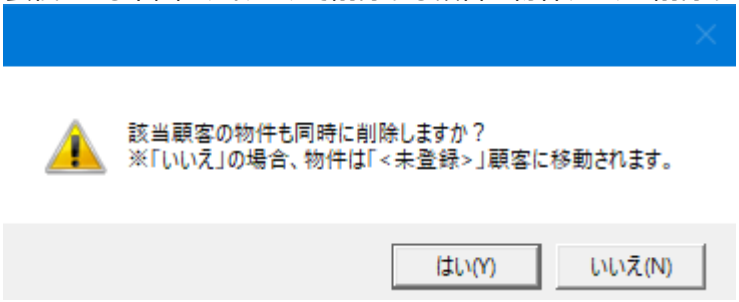
5) 削除

顧客情報を削除します。

表示される下図のダイアログの OK ボタンを押します。



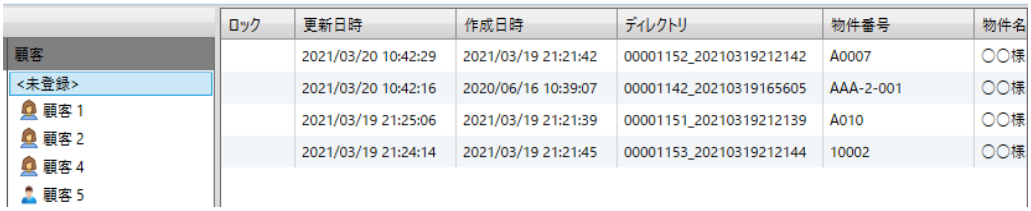
表紙される下図のダイアログで削除する顧客の物件データを削除するか残すか選択します。



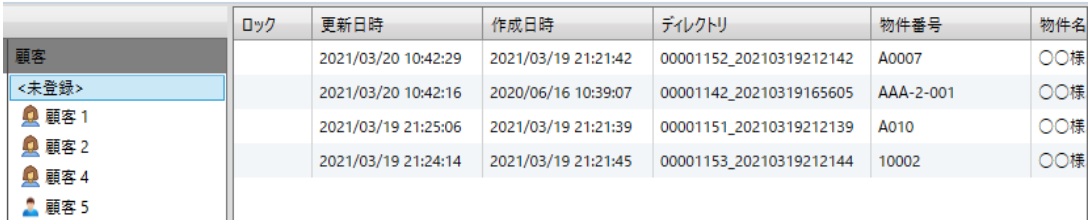
削除する場合は「はい」ボタンを押します。物件データが「削除物件」リストに移動します。

＜補足＞

顧客削除に伴って削除した物件データを削除リストから「元に戻す」アイコンで顧客の物件リストに戻した時、顧客リストの中のダミー顧客 ： ＜未登録＞ の物件リストに移動します。



削除しない場合は「いいえ」ボタンを押します。物件データが顧客リストの中の
ダミー顧客 ： ＜未登録＞ の物件リストに移動します。

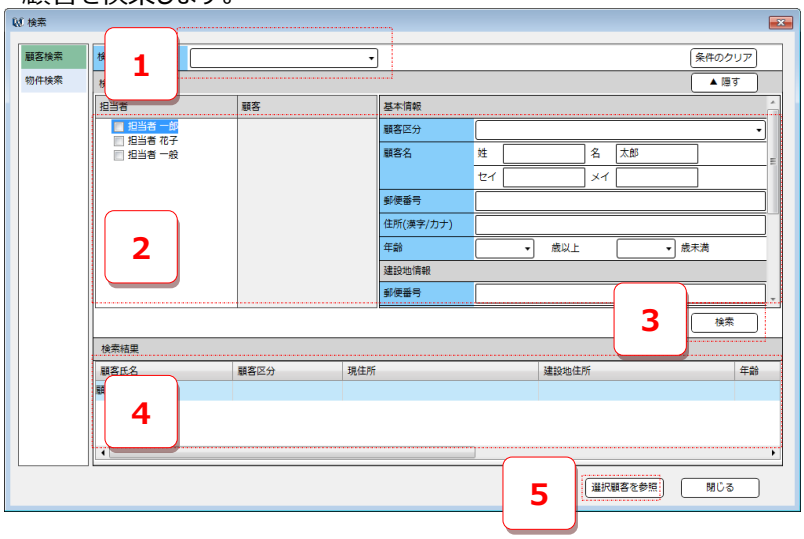


6) 移動

顧客をドラッグアンドドロップすることで担当者の変更が可能です。

7) 顧客検索

顧客を検索します。



① 検索履歴　　：過去の検索履歴を再設定します

② 検索条件　　：担当者、基本情報から条件を設定します

③ 検索ボタン　　：条件から検索を実行します

④ 検索結果　　：検索結果を表示します

⑤ 顧客情報参照　　：検索結果で選択した顧客の情報を表示します

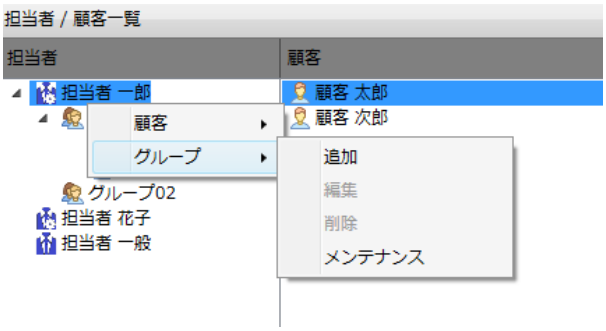
8) グループ追加

顧客を分類するグループを追加します。

追加ではグループを追加することができます。

担当者/顧客一覧で右クリックをして、ポップアップメニューを表示して下さい。

選択した担当者もしくはグループの下にグループを作成します。



9) グループ編集

グループの名称を変更することができます。

10)グループ削除

グループを削除します。

グループ内に顧客が存在する場合は削除することができません。

削除したグループの下にグループが存在した場合は上位のグループに紐付きます。

11)グループメンテナンス

グループ設定をメンテナンスします。

グループの追加、編集、削除、並び順変更が可能です。

2. 物件

1) 新規

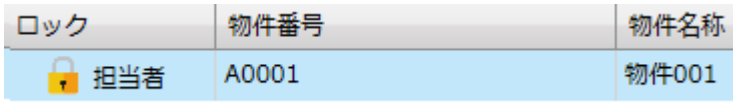
物件を新規作成します。

顧客を設定していないと有効になりません。

2) 開く

物件を開きます。

物件を編集中はロック状態となり、他の担当者は開くことができません。



ロック	物件番号	物件名称
担当者	A0001	物件001

（ロック中の物件）

物件を閉じるか、ロック解除を行うことで開くことが可能です。

※物件管理ツリー使用時はロックされません。接続先を共有している際は編集の衝突にご注意ください。

3) 物件情報

物件の建物共通情報を編集・確認します。

4) 物件情報の一括変更

複数物件の物件情報を一括で変更する機能となります。

変更したい建物タイプを選択し、その中から変更する内容にチェックを入れます。

5) 削除

物件データを削除します。

削除した物件データは削除物件に追加されます。

一度削除した物件でも削除物件から復元することが可能です。

削除物件表示中に削除を行うと完全に削除されます。

その場合は復元できませんのでご注意下さい。

6) 元に戻す

削除物件表示中に選択できます。

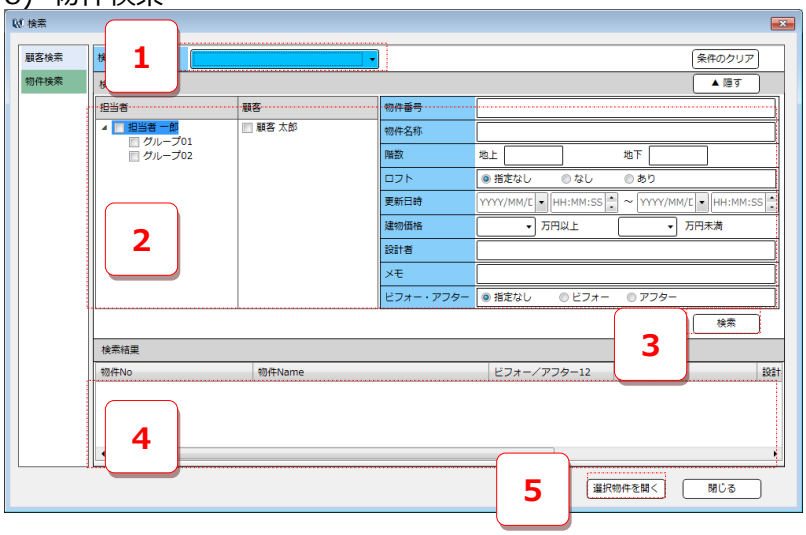
削除物件から物件データを復元することができます。

7) 削除物件の表示

削除物件を一覧表示することができます。

削除物件は復元や完全削除を行うことができます。

8）物件検索



① 検索履歴　　：過去の検索履歴を再設定します
② 検索条件　　：担当者、顧客、物件情報から条件を設定します
③ 検索ボタン　　：条件から検索を実行します
④ 検索結果　　：検索結果を表示します
⑤ 顧客情報参照　　：検索結果で選択した物件を開くことができます

3. コピーと移動

1）コピー

コピー先を指定して物件データのコピーをします。
物件管理ツリーを使用している場合は接続先をまたいだコピーもできます。

2）移動

物件データの移動をします。
物件管理ツリーを使用している場合は接続先をまたいだ移動もできます。

4.物件リスト

1）編集ロック解除

ロック中の物件を解除することができます。

ロック	物件番号	物件名称
担当者	A0001	物件001

（ロック中の物件）

2）リスト更新

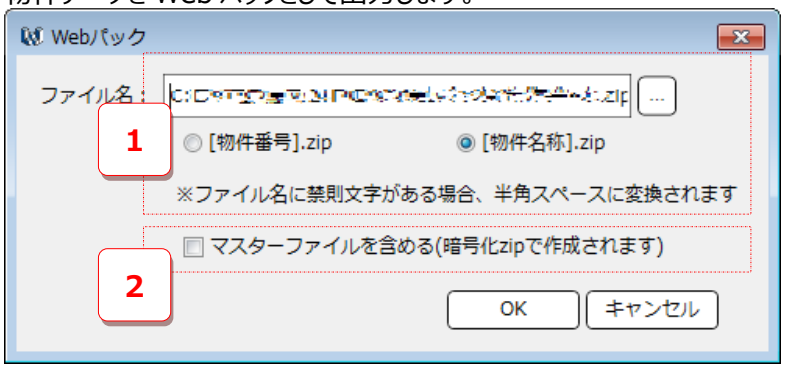
表示状態を最新の状態に更新できます。

1-2-3. ファイルメニュー

1.ツール

1) Web パック

物件データを Web パックとして出力します。



① 出力先を指定

[物件番号].zip 又は[物件名称].zip を指定することで名称を自動決定します。
また、ファイル名を直接指定することも可能です。

② マスターファイルを含める

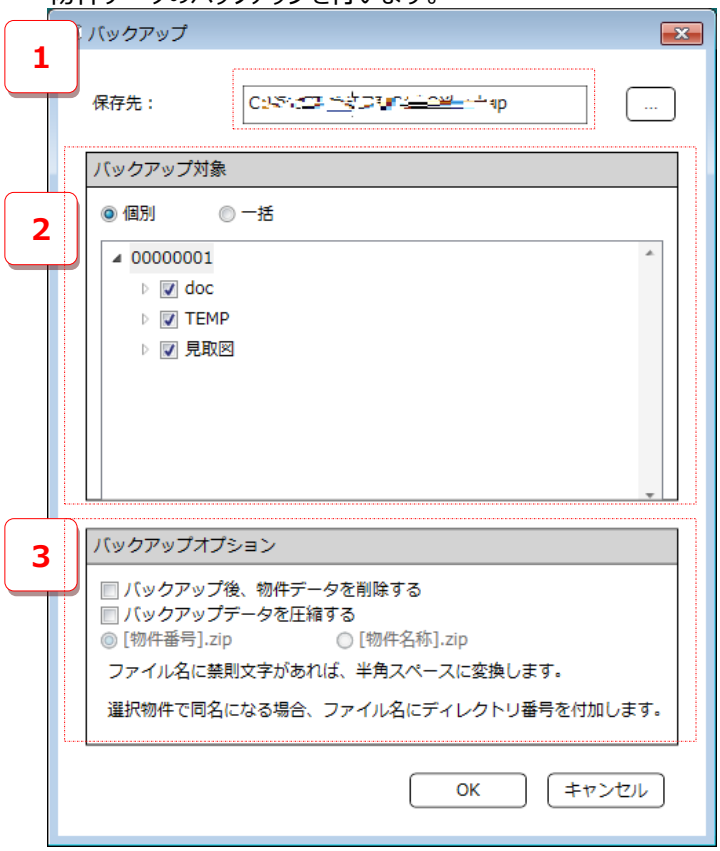
チェックを入れることで MasterWeb パックを出力することができます。マスターファイルが付与されているため、MasterWeb パックは開発元でのみ復号できるよう暗号化されています。開発元への問い合わせ等にご活用下さい。

2) 不足ファイル抽出

物件に不足するファイルがないか確認をします。
結果は[インストールディレクトリ]¥TEMP¥不足ﾌｧｲﾙ抽出.log に出力されます。
不足ファイルが存在した場合は画面上に出力されます。

3) バックアップ

物件データのバックアップを行います。



① 保存先

バックアップの保存先を指定します。

② 対象ファイルの設定

【個別】

物件データ内の何のファイルをバックアップとするか指定します。

【一括】

グループ単位でバックアップを行います。

③ バックアップオプション

【バックアップ後、物件データを削除する】

バックアップ後、元のデータを削除することができます。

【バックアップデータを圧縮する】

バックアップ時にデータを ZIP 形式で圧縮します。

圧縮時のファイル名称も指定できます。

4）リストア

バックアップデータの復元を行います。

フォルダ又は ZIP ファイルを指定し、取込み先を指定します。

5.終了

アプリケーションの終了が可能です。

1-2-4. 表示メニュー

1) 物件一覧の表示項目
物件一覧の項目を設定します。
表示状態の設定、順番の設定、幅、名称の設定が行えます。

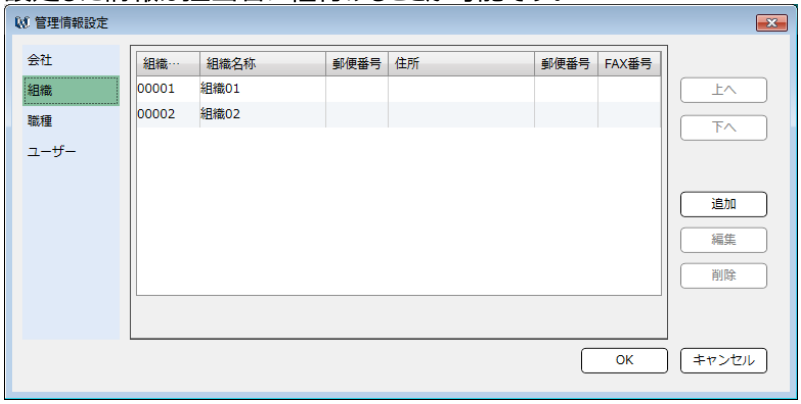
2) 表示設定
物件管理画面の表示を変更できます。
物件管理ツリー、顧客情報画面、物件情報の表示設定をチェックボックスで選択可能です。
※物件管理ツリーの表示はログイン時に「物件管理を使用する」にチェックを入れた場合のみ使用可能です。

3) 物件管理ツリー
接続先 DB を変更できます。
変更先の DB にユーザー登録されていない場合はログインが必要となります。

1-2-5. 設定・管理メニュー

1. 設定・管理
システム情報は物件管理からのみ設定可能です。
CAD 画面からは参照のみとなっております。
システム情報については別章「操作マニュアル_システム設定編」をご確認下さい。

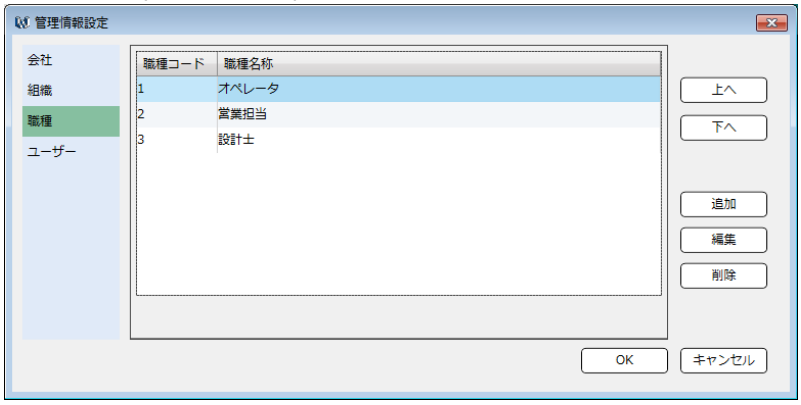
2. メンテナンス
【管理情報設定】
物件管理に関する設定を行えます。
一般ユーザーの場合はユーザー情報の参照のみ行えます。
1) 組織情報
自社の組織情報を設定できます。
設定した情報は担当者に紐付けることが可能です。



2) 職種

職種情報を設定できます。

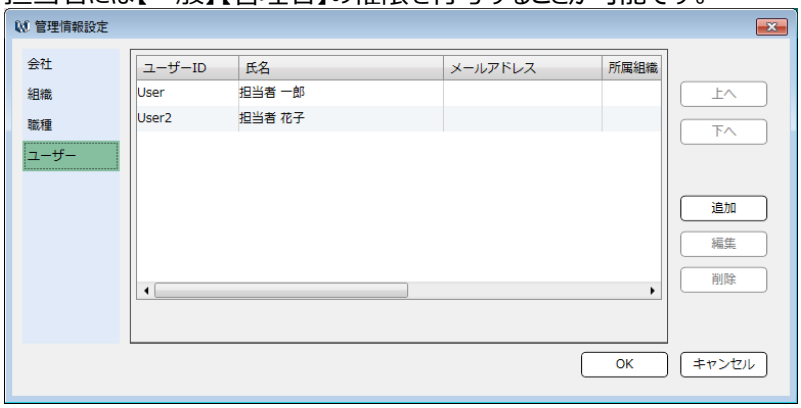
設定した情報は担当者に紐付けることが可能です。



3) ユーザー

担当者の情報を設定することが可能です。

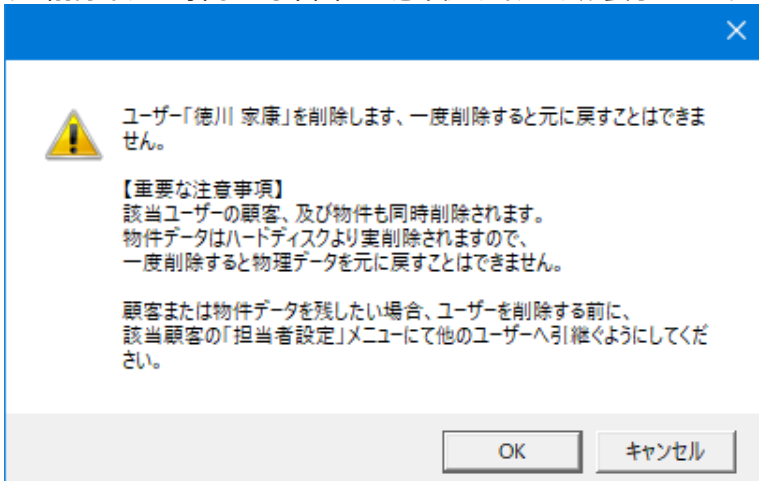
担当者には【一般】【管理者】の権限を付与することが可能です。



○一般ユーザー　　：管理情報設定にてユーザー情報の参照のみ行えます

○管理者ユーザー　　：管理情報設定の全機能を使用できます。

※削除ボタンでユーザーを削除すると、削除するユーザーの顧客と物件も同時に完全に削除されます。削除ボタンを押した時下図の注意喚起ダイアログが表示されます。



1-2-6. アプリケーションランチャーメニュー

【アプリケーションランチャー設定】

○ランチャーの設定

アプリケーションのショートカットを登録できます。

登録したアプリケーションはアプリケーションランチャーメニューから起動できます。

○拡張子の関連付け

拡張子とアプリケーションの関連付けを設定できます。

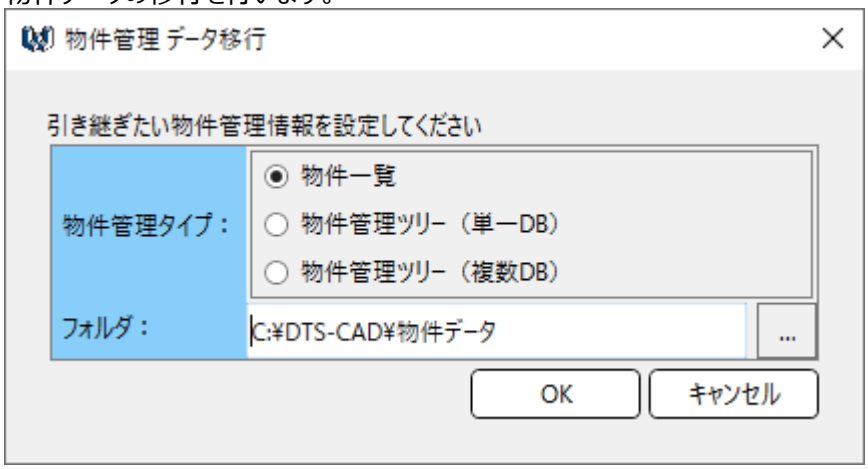
関連付けた拡張子を CAD で扱う時に起動するアプリケーションを設定します。

1-2-7. その他

1. メンテナンス

【物件管理データ移行】

物件データの移行を行います。



Walk in home で扱っていた物件も移行することが可能です。

引き継ぎ元のタイプとフォルダを指定して下さい。

2. バージョン情報

バージョン情報を表示します。

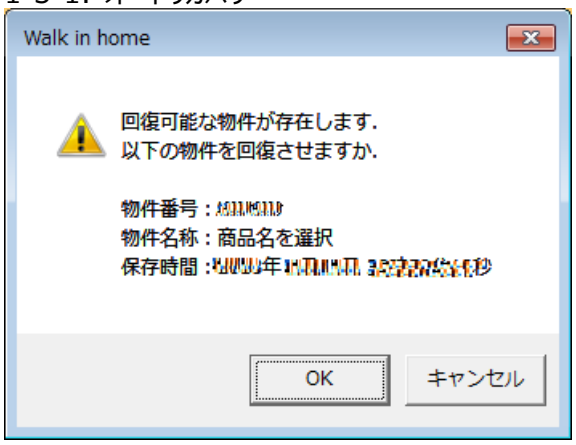
1-2-8. おすすめ

便利なホームページに簡単にアクセスできます。

リンクファイル（URL）は[インストールディレクトリ]¥MASTER¥link¥で設定可能です。

1-3）その他

1-3-1．オートリカバリー



作業中にアプリケーションエラーなどで異常終了した場合、次回、本システムを起動すると、上記のメッセージが表示されます。ＯＫボタンを押すと、ほぼ直前のデータまで自動で復元してくれます。オートセーブのタイミングは入力要素や選択要素の切り替わり、左欄での部材選択のタイミングで行われます。なおこのオートリカバリー機能は本システムの本体側のみ機能実装されています。

―以上―